

宇佐市定例記者会見（9月用）資料

平成28年 9月 20日申込

<p>件名</p>	<p>宇佐神宮風除報賽祭 御神能の奉納について</p>																		
<p>日時等</p>	<p>平成28年10月21日(金) 12時00分 ~ 16時頃</p>																		
<p>場所等</p>	<p>宇佐神宮能舞台</p>																		
<p>趣旨、目的</p>	<p>1. 県指定無形文化財「御神能」が、宇佐神宮の風除報賽祭にあわせて奉納されます。 宇佐神能会により継承されている能楽です。 2. 後継者育成事業として、宇佐小学校児童を10年近く継続し招待しています。</p>																		
<p>内容等</p>	<p>大分県の無形文化財に指定されている「宇佐神宮御神能」が、本年も上記の日時・場所で奉納されます。入場料は2,000円です。</p> <p>御神能は、元和五(1619)年に細川忠興公により復興されて以降、毎年10月21日に400年近く絶えることなく、今日まで演じられてきた奉納の能楽です。</p> <p>東京の能楽師(観世流)とともに、地元会員からなる宇佐神宮神能会が、上演に参加するものです。このように地元の方々が能楽師に交じって、上演する事例は全国的にもあまりありません。</p> <p>詳細演目等につきましては、別添能番組をご参照ください。</p> <table border="0"> <tr> <td>素謡</td> <td>神歌(かみうた)</td> <td>中島 豊</td> </tr> <tr> <td>仕舞</td> <td>熊坂(くまさか)</td> <td>並松吉昭</td> </tr> <tr> <td>解説</td> <td></td> <td>武田宗典(たけだむねのり)</td> </tr> <tr> <td>舞囃子</td> <td>菊慈童(きくじどう)</td> <td>鷹尾維教(たかおゆきのり)</td> </tr> <tr> <td>狂言</td> <td>萩大名(はぎだいみょう)</td> <td>河原康生(かわはらやすお)</td> </tr> <tr> <td>能</td> <td>通小町(かよいこまち)</td> <td>武田宗和(たけだむねかず)</td> </tr> </table> <p>能「通小町」でシテを演じる「武田宗和」先生は、文化庁より重要無形文化財総合認定保持者に認定されています。</p> <p>○通小町解説は添付資料をお読み下さい。</p>	素謡	神歌(かみうた)	中島 豊	仕舞	熊坂(くまさか)	並松吉昭	解説		武田宗典(たけだむねのり)	舞囃子	菊慈童(きくじどう)	鷹尾維教(たかおゆきのり)	狂言	萩大名(はぎだいみょう)	河原康生(かわはらやすお)	能	通小町(かよいこまち)	武田宗和(たけだむねかず)
素謡	神歌(かみうた)	中島 豊																	
仕舞	熊坂(くまさか)	並松吉昭																	
解説		武田宗典(たけだむねのり)																	
舞囃子	菊慈童(きくじどう)	鷹尾維教(たかおゆきのり)																	
狂言	萩大名(はぎだいみょう)	河原康生(かわはらやすお)																	
能	通小町(かよいこまち)	武田宗和(たけだむねかず)																	
<p>主管者</p>	<p>宇佐神能会 宇佐市教育委員会社会教育課</p>																		
<p>連絡先</p>	<p>宇佐神能会 宇佐神宮内 永弘健二能太夫、池田裕信能行司 TEL 37-0001 能楽師取次・撮影許可受付・マスコミ各種対応は以下にお願いします。 宇佐神能会会員 並松吉昭 TEL37-0494 携帯TEL080-1791-1117 文化財係 32-1111 内線687 担当：江藤</p>																		

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年9月26日 申込

件名	宇佐海軍航空隊跡の戦争遺構の調査について
日時等	平成28年9月28日(水):午前10:00～半地下式コンクリート造建物 平成28年9月30日(金):午前10:00～エンジン調整場 午後13:00過ぎ～落下傘整備所
場所等	同上
趣旨、目的	<p>本市では、昨年度策定しました「第2次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画書」に沿って遺構の整備を進めております。</p> <p>今年度は、落下傘整備所、半地下式コンクリート造建物、エンジン調整場の基本設計を大分県建築士会宇佐支部の有志の方で組織する「宇佐町並み修景隊」に委託しています。</p> <p>「宇佐町並み修景隊」には、歴史文化遺産の保全活用の手法を修得したヘリテージマネージャーが所属していますが、そのヘリテージマネージャーを中心として地域に根差した文化財の保存活動を行っています。</p> <p>今回の調査にあたっては、大分県立工科短期大学の建築システム系の松尾教授のゼミ生(9人)と連携して調査を行っていきます。</p> <p>最終的には、整備のための意見交換を行い、「宇佐町並み修景隊」は、基本設計、大分県立工科短期大学の松尾教授ゼミ生は、卒業研究のテーマとして今回の調査に取り組みます。</p>
内容等	<p>■落下傘整備所、半地下式コンクリート造り建物、エンジン調整場の調査</p> <p>具体的には、上記の日程で、各遺構の平面図、立面図作成のための実測調査を行う。</p> <p>「宇佐町並み修景隊」・・・10人予定</p> <p>大分県立工科短期大学の建築システム系の松尾教授のゼミ生・・・10人(含教授)</p>
主管者	宇佐市教育委員会 社会教育課 平和ミュージアム建設準備室
連絡先	社会教育課 32-1111 内線(695、696) 担当:出口、大冨

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成 28 年 9 月 20 日 申込

件名	青少年のための科学の祭典 2016大分大会 in宇佐市
日時等	平成28年10月23日(日) 9:45~16:30
場所等	宇佐市勤労者総合福祉センター さんさん館
趣旨、目的	実験や工作などの実体験を通して多くの方に科学に対する興味関心をもってもらうためのイベントです。
内容等	<p>50のブースが出展し、小中高生、一般の方々に体験をしてもらう。</p> <p>出展ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観察してみよう スッポン・ドジョウとその成長」 ・「新しい技術で現代に通じる石橋」 ・「歯周病原因菌を調べよう」 ・「紙飛行機ストローロケット」 ・「相撲ロボットを動かしてみよう」 <p>など</p>
主管者	<p>科学の祭典大分大会実行委員会事務局 実行委員長 青木 照子</p> <p style="padding-left: 100px;">宇佐会場 実行委員長 渡辺 利幸</p> <p style="padding-left: 100px;">宇佐会場 事務局長 小野 昌俊</p>
連絡先	<p>渡辺 利幸 090-3737-4497</p> <p>小野 昌俊 090-5280-5824</p>

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年9月20日申込

件名	開館35周年記念 平成28年度特別展 「生誕200年記念 賀来飛霞—おおいたから日本の近代を切り拓く—」
日時等	平成28年10月14日(金)～11月20日(日) [開館時間] 午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで) [休館日] 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその直後の平日)
場所等	大分県立歴史博物館 企画展示室
趣旨、目的	<p>おおいたには、幕末日本の三大本草学者の一人に数えられている人物がいます。豊前国宇佐郡佐田村(現宇佐市安心院町佐田)の賀来家の一族で、文化13(1816)年、現在の豊後高田市高田に生まれた賀来飛霞です。本展は、平成28年が賀来飛霞の生誕200年にあたることを記念して開催します。</p> <p>江戸時代、日本の本草学は、経験と実証を重視した現地調査にもとづき、自然界のあらゆる事物を研究する博物学へと展開していきました。賀来飛霞は全国各地をめぐり歩いて動植物の生態をくわしく観察・記録し、その姿形を色鮮やかな写生図に表しました。とくに写生図は、飛霞の本草学の真髄を表しており、日本近代植物学の成立に大きく貢献したとの評価を得ています。一方で飛霞の本草学は、幕末期の大砲製造事業や河童研究、あるいは絵画にまで及んでおり、まさに「江戸時代の科学」として位置づけることができます。</p> <p>本展では、動植物写生図を中心に賀来飛霞ゆかりのさまざまな文化財を展示し、飛霞がわが国の自然とどのように向き合い、何を目指して本草学に取り組んだのかを明らかにします。さらに、飛霞の本草学の多様性を通して江戸時代における本草学の位置づけを検討し、彼の学問が日本の近代化に果たした役割について明らかにします。</p>
内容等	<p>【展示構成(予定)】</p> <p>プロローグ—昭和天皇の天覧写生図—</p> <p>(1) 学問の国・おおいた</p> <p>(2) 江戸時代の本草学</p> <p>(3) 賀来飛霞の生涯—取りまく人びととともに—</p> <p>(4) 写生図からみた賀来飛霞の本草学—自然を見つめる—</p> <p>(5) 本草学の真髄—賀来飛霞と大砲製造—</p> <p>エピローグ—人と自然の近代化—</p> <p>【観覧料】</p> <p>当日券 一般：510円(団体360円) 高大学生：310円(団体200円) 中学生以下：無料</p> <p>前売券 一般：460円(団体360円) 高大学生：260円(団体200円) 中学生以下：無料</p> <p>※団体は20名以上。土曜日の高校生の観覧は無料。 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳のいずれかの所持者とその付添者1名は無料。</p>
主管者	大分県立歴史博物館 学芸調査課 主任学芸員 平川 毅
連絡先	TEL 0978-37-2100

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年 9月21日 申込

件 名	寺泊
日時等	11月 3日～ 4日
宿泊場所	真宗大谷派四日市別院(通称:東別院) 「別院」としての始まりは、いわゆる「真勝寺騒動」の後、幕府の裁断により、真勝寺寺跡・敷地すべて公儀(幕府)に没収される(この裁断は当時幕府寺社奉行であった大岡越前守忠相による)。翌年の延享元年(1744年)東本願寺へ御下付となり「本山掛所御坊」となる。これを「九州御坊」と称し、全九州の真宗大谷派716寺院を統括した「別院」としての始まりである。
趣旨、目的	四日市の素晴らしいお寺での厳肅な雰囲気での体験とご当地ならではの夕食「極楽鍋」
内容等	<p>スケジュール 11月3日(木)PM2:00～11月4日(金)AM10:45</p> <p>1日目のPM2:00受付・開会式・オリエンテーリング後、5コーナーに分かれて体験 体験は、四日市伝統技能伝承クラブの四日市人形絵付け・腕輪念珠作り・まちなみ散策 ヨガ・アロマ・セラピー</p> <p>体験後、入浴、商店街の協力店での夕食(ご当地ならではの極楽鍋)・その後希望者と輪番を囲み夜なべ談義・懇親会</p> <p>2日目、早朝起床して梵鐘体験・本堂でのおあさじ体験(読経・ご法話) 朝食後両別院の散策・ご縁の雑巾拭きを本堂にて、その後ミーティング・閉会式・恩読讃 解散</p> <p>詳細は、宇佐市観光協会ホームページ・宇佐市ホームページ(トップページ)募集情報を参照</p>
主管者	四日市門前町まちづくり推進協議会
連絡先	四日市門前町まちづくり推進協議会 事務局 豊田 知伸 (TEL)090-5297-3674 (FAX) 0978-32-0028 (メール)usa_fujiwarachaho@yahoo.co.jp

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年9月20日 申込

件名	渡綱記念ギャラリー企画展「横光利一展～『旅愁』の俳句～」について
日時等	<p>期間:平成28年9月17日(土)～10月30日(日)</p> <p>時間:午前10時～午後6時(日曜日のみ午後5時)</p> <p>休館日:毎週月曜日・月末木曜日(図書整理日)</p>
場所等	宇佐市民図書館 2階・渡綱記念ギャラリー
趣旨、目的	<p>第18回「横光利一俳句大会」の関連行事。9月6日(火)に今年の応募作品を締め切り、現在、入選作の選考作業中。入選作は10月15日までに入選者にもに通知し、表彰式は、10月22日(土)に図書館視聴覚ホールで開催予定。今回の展示は、この俳句大会にあわせ、作家の業績や人生を紹介するものである。</p>
内容等	<p>1. 今回の展示テーマ = 「『旅愁』の俳句」</p> <p>横光利一の代表作であり、宇佐が舞台としても登場する長編小説『旅愁』のなかに登場する俳句(全15句)を紹介。小説のなかで登場人物たちが作るという設定で盛り込まれているが、すべて横光利一の創作句である。</p> <p>2. 初公開資料 = エッセイ「塩」(自筆原稿4枚・完結)</p> <p>横光利一最晩年のエッセイで、昭和25年2月発行の雑誌『中央公論』に「遺稿」として発表されたものである。</p> <p>3. その他の主な展示資料</p> <p>自筆俳句(額装・軸装・短冊、計5点)／自筆書画(額装、計2点)／本籍地・宇佐が記入されたパスポート(1点)／ロンドンから妻にあてた手紙(封筒含み3点)／横光利一のデス・スケッチ(岡本太郎画・佐野繁次郎画、計2点)／複製原稿(「旅愁」冒頭、「寝園」冒頭、「十日会」会報、計5点)／初版本等書籍(34点)など</p> <p style="text-align: right;">【資料総数=90点】</p>
主管者	宇佐市民図書館 奉仕係 担当:松寿 敬
連絡先	TEL 0978-33-4600(内線:153) FAX 0978-33-4679

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年 9月 20日 申込

件名	市内循環バス実験運行
日時等	平成28年10月1日(土)～11月30日(水)
場所等	宇佐駅、柳ヶ浦駅、四日市地区、市内主要施設
趣旨、目的	「宇佐市地域公共交通網形成計画」策定のための調査事業として、平成28年1月～2月に第一次調査事業として、宇佐駅と柳ヶ浦駅を結び、市内主要施設へ繋ぐ市内循環バスを運行しました。今回、更なるコミュニティバスおよび路線バスの需要地域の掘り起しを第一次調査結果を踏まえた上で、再度循環バスの実験運行を行います。
内容等	<p>■運行期間 平成28年10月1日(土)～11月30日(水) (日曜祝日除く)</p> <p>■運行内容 宇佐駅を起点とし、柳ヶ浦駅や交通結節点となる四日市地区、市内主要観光施設、医療施設等を時計回り、反時計回りにジャンボタクシーにて運行します。</p> <p>■運賃 1便200円の均一料金となります。</p> <p>■運行便数 時計回り、反時計回りにそれぞれ1日7便(7時～19時)運行します。</p>
主管者	企画財政課 企画調整係
連絡先	TEL 0978-32-1111(内線:314) FAX 0978-32-2331

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成 28年 9月20日 申込

件名	宇佐学校給食センター「クロダマル(枝豆)」収穫体験
日時等	平成28年10月19日水曜日 10:00～11:45
場所等	宇佐市大字橋津 農事組合法人 橋津営農組合「よりもの郷」クロダマル圃場
趣旨、目的	宇佐市が日本一の生産量を誇るクロダマルが、10月20日・21日の宇佐市内全域の給食(献立名:クロダマルの枝豆)で出されます。 食育の一環でクロダマルについて児童生徒に知ってもらおうと学校給食課から、農事組合法人 橋津営農組合「よりもの郷」に協力を依頼し、収穫体験が実現しました。収穫は、宇佐小学校の1・2年生が協力してくれ、児童がもぎ取ったクロダマルは、翌日の給食で提供されます。
内容等	大分県最大の穀倉地帯である宇佐市では、平成21年からクロダマル(黒大豆)の栽培が開始され、平成27年度は、集荷量50t、作付面積64haとなり日本一の産地とされています。 10:00～10:20 クロダマルのお話 「よりもの郷」 仲 延旨(なか のぶよし)理事 高橋 由香里栄養教諭 10:20～11:00 クロダマルの収穫とさや取り作業 11:00～11:45 質疑応答・お礼のあいさつ ※ クロダマル使用量 宇佐212kg 南部40kg
主管者	宇佐市教育委員会 学校給食課 宇佐学校給食センター (担当:吉武・熊埜御堂) 協力:農事組合法人 橋津営農組合「よりもの郷」 宇佐小学校
連絡先	宇佐学校給食センター 0978-32-8020

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年 9月20日 申込

件名	うさここ♡ハッピーフェスタ												
日時等	平成28年11月5日(土)10時～15時												
場所等	はちまんの郷宇佐 三和酒類スポーツセンターとその周辺												
趣旨、目的	もっと子どもと触れ合い、子育てを楽しんでもらうこと、また家族や周りの人々などのサポートによる子育てしやすい環境づくりを目指す。												
内容等	<p>うさここ♡ハッピーフェスタを開催します。就学前くらいの子もたちとその家族を対象とした子育て応援イベントです。観て、参加して、いっぱい遊んで、楽しめるコーナーがいっぱいです。ぜひご家族でご参加ください。</p> <p>内容: 運動のコーナー(チャイルドピック、冒険アスレチック) 遊びのコーナー(ダンボール迷路、わなげなど) 癒しのコーナー(ハッピーマッサージ、ヘッドマッサージなど) 学びのコーナー(木育、バルーンアートなど)</p> <p>～チャイルドピックの参加者を募集します～</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">種目</th> <th style="width: 40%;">対象</th> <th style="width: 30%;">開始時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイハイしよう</td> <td>8か月頃～12か月頃</td> <td>10時20分～</td> </tr> <tr> <td>歩いてみよう</td> <td>10か月頃～1歳6か月頃</td> <td rowspan="2">11時～</td> </tr> <tr> <td>走ってみよう</td> <td>1歳6か月頃～3歳頃</td> </tr> </tbody> </table> <p>定員 : 各種目50名程度(先着順) 申込期間 : 10月3日(月)～10月21日(金)まで 申込み先… 宇佐市役所 子育て支援課 電話 0978(32)1111 (内線628・629) 参加者全員に参加賞有り</p>		種目	対象	開始時間	ハイハイしよう	8か月頃～12か月頃	10時20分～	歩いてみよう	10か月頃～1歳6か月頃	11時～	走ってみよう	1歳6か月頃～3歳頃
種目	対象	開始時間											
ハイハイしよう	8か月頃～12か月頃	10時20分～											
歩いてみよう	10か月頃～1歳6か月頃	11時～											
走ってみよう	1歳6か月頃～3歳頃												
主管者	うさここ♡ハッピーフェスタ実行委員会 (宇佐市役所 子育て支援課)												
連絡先	子育て支援課子育て支援係 西田 0978-32-1111(内線613)												

宇佐市定例記者会見（９月用）資料

平成28年 9月 16日申込

行事名	第26回 さんさん館講座生作品展
日時	平成28年10月14日（金）9：00～20：00 15日（土）9：00～17：00 16日（日）9：00～15：00
場所	さんさん館多目的ホール、ロビー
趣旨、目的	楽しく趣味や文化を学ぶさんさん館の講座生に、日頃の成果の発表の場を提供するとともに、広く市民の皆様にさんさん館を知っていただくことを目的に作品展を開催する。
行事内容等	別添資料のとおり
行事主管者	一般財団法人宇佐勤労者福祉協会 事務局長 藤澤 密麿
連絡先	0978-33-4771（さんさん館）

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成28年9月14日 申込

件名	第4回 石橋の郷 つみ草料理 色彩フェア
日時等	平成28年10月22日(土) 10:30~15:00
場所等	宇佐市院内支所 支所前広場
趣旨、目的	身近な山野草を院内町の新たな地域資源として「つみ草」を活かした料理や地元特産品を広く市内外の方々にアピールをし、食文化を通じた地域おこしを図る。
内容等	<p>昨年まで、いんない文化交流ホールで開催していました「つみ草フェア」を、今年は支所前広場にて開催します。当日は地元の山野草をふんだんに使った色鮮やかな「つみ草御膳」や地元まちづくり協議会による郷土料理の販売、観光協会からは猪鍋400人分の無料配布を行います。また、地元出身者による演奏や地域の特産物が当たるお楽しみ抽選会も行います。</p> <p>「つみ草御膳」の前売りは数量が限定されていますので早めのチケットの購入をお願いします。「つみ草御膳」の前売券は院内支所産業建設課にて販売しています。当日券もありますが数に限りがあります。</p> <p>当日は全ての商品がチケットでの購入になります。500円分のチケットを購入ごとに抽選券を1枚差し上げます。</p> <p style="text-align: center;">10:30 開場・オープニング行事 11:00 開会行事 14:30 お楽しみ抽選会 15:00 閉会</p>
主管者	院内支所 産業建設課 産業振興係 担当:佐藤竜二
連絡先	TEL 0978-42-5111(内線:151) FAX 0978-42-5115

宇佐市定例記者会見(9月用)資料

平成 28年 9月 7日 申込

件名	シユトス弦楽四重奏団チャリティーコンサート
日時等	平成28年10月31日午後6時半開演
場所等	真宗大谷派四日市別院 (宇佐市四日市1425-1番地)
趣旨、目的	四日市別院の修復を機会に、地域の芸術・文化の振興に資することと、東日本大地震・福島原子力発電所事故被災者、ならびに、熊本・大分地震被災者の支援を目的に、シユトス弦楽四重奏団を招いて、チャリティーコンサートを開催する。
内容等	<p>四日市別院修復記念事業「シユトス弦楽四重奏団チャリティーコンサート」 “東別院本堂で聴く弦楽四重奏の調べ”(NHK交響楽団員・団友)</p> <p>主催 シユトス弦楽四重奏団チャリティーコンサート実行委員会</p> <p>後援 真宗大谷派日豊教区 真宗大谷派四日市別院(東別院) 宇佐市 宇佐市教育委員会 四日市商店街振興組合 放射能から子どもを守る会日豊(福岡・大分)</p> <p>入場料 (前売) 大人 3,000円 中・高・大学生 800円 小学生 400円 (当日) 3,500円 1,000円 500円</p> <p>(チラシ参照)</p>
主管者	文化・スポーツ振興課
連絡先	<p>シユトス弦楽四重奏団チャリティーコンサート実行委員会</p> <p>実行委員長 藤谷知道 (大分県宇佐市四日市1426番地 0978-32-1806)</p>